

熊本県半導体人材育成会議の設立について

1. 設立の目的

世界的に半導体需要が高まる中、昨年11月にTSMCが熊本への進出を表明したことに伴い、TSMCを含む県内半導体関連企業における人材の育成と確保が喫緊の課題となっており、産学官が一体となった取組みが求められている。

2. 会議における取組み

- 県内半導体関連企業（産業界）と学・官の直接対話の定例的な場を創出
- 今後数年間は人材不足が顕著となる県内半導体関連企業における人材育成の強化
- 産業界が求める人材像や、人材育成のための教育プログラム等について検討

3. メンバー構成

- ・半導体に関する産・学・官の関係者で構成するものとする。
- ・具体的な議論の場とするため、各構成員の実務担当者をメンバーとする。
例) 企業の人事部長、各校のカリキュラム編成や就職担当教員 等

R4.3.17
発足

産

- ・大手デバイスメーカー
- ・製造装置大手・地場協力企業

- ①定例会の開催（年2回程度）
- ②メーリングリストでの情報交換
- ③構成メンバーが実施する県内就職支援イベントへの協力 など

学

- ・大学・高専
- ・短大・高校
- ・専修学校

官

- ・県、教育庁
- ・国、中小企業大学校、ポリテクセンター